募集しています！
農地を貸したい方・借りたい方へ

農地貸借の新しい仕組みです

農地中間管理事業は、「農地を貸したいが、相手が見つからない」「経営規模を拡大したいが、借りられる農地を探すのが大変」などの地域が抱える人と農地の問題を解決するため、農地中間管理機構が間に立ち、農地の集積・集約化を行う事業です。農地の貸借を希望の方は、産業経済課までご応募ください。

農地を貸したい方

機構を通じて農地を貸し出す場合は下記の条件を満たす必要があります。応募に必要なものなど詳しくはお問い合わせください。

- **応募期間：随時**
- **条件**
  - ①農業振興地域の農地であること
  - ②遊休農地の場合は再生が可能であること
  - ③安定した農地の貸付に支障をきたすような仮登記や抵当権の設定等がないこと
- **注意事項**

機構との契約は、借り手が見つかってから行います。申込書を提出した後も、借り手が見つかるまでの間は農地の管理をお願いします。

農地が共有名義の場合は、持分割合によって共有者の同意が必要な場合もあります。

農地を借りたい方

機構から農地を借りたい場合は、応募期間に申込みをする必要があります。申込みに必要なものなど詳しくはお問い合わせください。

- **応募期間**：平成26年12月1日（月）～平成27年1月9日（金）
- **注意事項**
  - ①提出された申込書は1年間有効です。
  - ②提出後にヒアリングを行う場合があります。
  - ③千葉県園芸協会のホームページで申込者の氏名・借受希望農地の面積・区域区分・栽培予定の作物、希望する条件が公表されます。

お問合せ●多古町産業経済課農業振興係（受付窓口）☎76-5404
農地中間管理機構（公益社団法人　千葉県園芸協会内）☎043-223-3011

文芸コーナー

俳句

秋声や午後の川辺に風すこし　南中木内慶子
秋櫻われを多弁へ誘へり　田町渡部健
すくも火は村を燻しつ秋暮るる　水戸鈴木やすし
烏瓜びくともしない高さかな　飯新町前橋節子
鍬入れて土よりひびく秋の声　喜多瓜生恒子
どの樹にも強く抱きつく烏瓜　次浦高橋耕造
御嶽の晩秋いのち帰らざる　仲町香取省吾

短歌

集会の若きらの会話に追いつけず午後は畑にひとり草引く　大門藤井たか
稔り田に突入したるコンバイン息子は忽ち刈り取りてゆく　南中宮内貞子
水底の魚のやうにも眠りたし窓に今宵の月は押し照る　南玉造秋山裕子
色づきしナンキンハゼの影を踏む秋日となりて歩道輝く　島星野みつ
この秋の気温の変化に追いつけずふわりよろける七十六歳　染井佐藤登久
むかしの服纏ひて歩く初秋のショーウィンドー眩し目を逸らしつつ　染井小川美智子
集落の入り口に立つ掲示板色褪せしポスター雨に濡れるつ　南玉造越川節子

ありのままの姿、ありのままの自分

文／国保多古中央病院　内科　宇都宮隆法

今年の春、ディズニー映画の「アナと雪の女王」が大ヒットして、その主題歌の「let it go ～ありのままで～」を幾度となくテレビを通じて耳にした方も多いでしょう。ありのままの姿、あるいは、思っていることをそのまま口に出さないのはスムーズに社会生活を送る上で知恵を絞った結果でもあります。アメリカの社会学者ゴッフマンは、「社会は、心理的に不安定で気まぐれな人間が、お互いに演技をしあって相手を導いて成り立たせている演劇のようだ」と指摘しました。

「ありのままの姿を見せる」ことで、自分が考えている自分自身と、社会から期待されていることの間に隔たりが生じ、その隔たりに板挟みとなって悩んでいる方が多いようです。特に若年者層でこの悩みとストレスが大きく、非行を繰り返したり、奇抜な服装をしたりして親や教師をはじめとする周囲の人の注目を集めようとします。しかし、成長していく中で、同じ職業を長く続けていると、社会からの期待と自分の思いが徐々に重なっていきます。

そもそも「ありのままの姿」を自分自身で正確に把握することは困難でしょう。ただ単にやりたいことを並べて、それを「自分のありのままの姿だ」と言うことはできません。もし、お金持ちだったら大きな家を買いたいという方が、実際にお金を手に入れたら、別な使い方を思いつくかもしれません。若返ったら海外留学したいという人は、本当に若返ったら海外留学するでしょうか。たいていの人は、ありのままというよりは思い通りにやりたいように生きてきたと言ったほうが近いのかもしれません。

映画の原作になったアンデルセンの童話「雪の女王」には「良い物を悪く映す悪魔の鏡」が登場しますが、現在でもテレビが同じ役割を果たすことがあります。特定の芸能人、野球監督、政治家が出演すると、しきりに不快感を表す人がいます。こういう人は、本当は自分自身がその人物の役をやりたかったのかもしれません。

かなえることができなかった夢をテレビで見て思い出すたびに、大きなストレスとしてのしかかり、時にはその人の人格と言動に暗い影を落とすことがあります。プロ野球監督の采配に口うるさい人であれば、本当は自分が野球監督になりたかったのではないかと考えると、自分のありのままの姿を知る手助けになります。心配はいりません。今からでも子供のスポーツ指導や行事の手伝いなどのボランティアで、監督になるチャンスはあります。

好きと嫌いの境界はあいまいであり、気まぐれな自分が嫌っている事柄は本当に嫌いなのかを見つめ直し、かなえられなかった夢が見つかったら身近で再挑戦することで、とげとなって心に刺さった夢のかけらを取り除き、ストレスを解消できるかもしれません。

本の森 ―私の一冊―

『もうすぐ　ゆきのクリスマス』

38年目

『もうすぐ　ゆきのクリスマス』
作：ターシャ・テューダー
訳：内藤里永子
発行：メディアファクトリー

〈あらすじ〉
待ちに待ったクリスマスが来るまで、子どもたちはどうやって過ごすのでしょう。だんだん近づいてくるクリスマスまでの様子を、子どもや動物たち、豊かな自然への深い愛情で包まれ描かれた心優しい絵本。

12月になると読みたくなるのが絵本の「もうすぐゆきのクリスマス」です。この物語には、古い家に住むネズミなどの動物や豊かな自然を交えて、近づいてくるクリスマスに子どもたちがわくわくして待っている日々の様子が描かれています。きれいな文章と優しい挿絵でつづられ、読み聞かせをすると8～9分くらいかかります。

この絵本の作家であるターシャ・テューダーは昔ながらの生活を好み、アメリカ・バーモンド州の山の中で自然と動物に囲まれて暮らし、生活のほとんどのものを自分で作り出します。植物を育てかごを編み、麻糸を紡ぎ染めて布を織る。チーズやバター、木工細工、ぬいぐるみなど常に自らの手を動かし作り上げ、決して物を無駄にしない彼女の実践する質素で優雅なライフスタイルになんて素敵な人なのだろうと感動しました。彼女のことを知ってから出版している作品を読んでみたいと思い、手にしたのがこの絵本でした。ほかに出ている絵本も自然がいっぱいで色彩がきれいなところがとても気に入り、自分に合った絵本に出会えたと思いました。

本植人：小林房子さん（つつじヶ丘）

何かしたいなと思っていた頃、広報に読み聞かせの募集があったので申し込み、現在は立ち上げから携わっている読み聞かせの会ぐるんぱに所属して、13年目を迎えました。これからも素敵な絵本を紹介できたらと思います。

今回紹介した本は、プラザ図書室に置いてあります。
リクエストにもお応えしますので、お気軽にご利用ください。
■コミュニティプラザ図書室
☎79-3406
開館時間：午前8時30分～午後5時
【休館日】毎週月曜日・祝日
年末年始はP.8をご覧ください。